

薩摩川内市第5期(平成25~26年度) 女性50人委員会 中間報告会

(まちづくり塾 第2回12月21日、第4回1月26日)

女性50人委員会第4期までは、「市政に対する提言を行う」ことが目的でした。第5期は、「多様な生き方をしている市民一人一人の人権を尊重するために、行政サービスにだけ頼るのではなく、私たち自身で何ができるか」を検討中です。平成26年度は、今年度の作業を基にもっとパワーアップして、実現可能な事業の提案をする予定です。

現状把握から重点課題の抽出まで

まず、自分たちが地域生活者として普段思うことを、そのまま出しました。その中から、自分の意見・感想ではなく、よりしっかりした根拠・事実を調べ出し、現状把握に努めました。

高齢者世帯の妻が入院した。耳が遠く、目も悪く、家事が出来ない夫のことが心配である。



地区コミュニティで行われる行事は、準備から本番、片づけと多忙である。そのメンバーで働くのは半分以上女性が占める。接待や食事作り、資料の綴じ込みなど女性グループで手伝う機会が多い。

会議に参加し、発言する機会は男性に偏る。男性・女性の役割が固定化していることが多いように感じている。



地区コミュニティ協議会や自治会の役員に女性が少なく、女性の声が届かない。

女性の役員は、女性部長(婦人部長)だけのところが多い。



高齢化に伴い、河川愛護・農道草払いなど自治会作業も困難になっている。独り暮らしの女性も多く、男性に負担が掛かることもある。



第5期女性50人委員会委員の感想

今回活動してきた中で、大きな発見がありました。「事実を調べる」ということの難しさです。自分の思いや意見が唯一の真実のように語っていて、いざ、それが本当なのか、確かな根拠は、と問われて探してみたら、なかなか挙げることができないこともありました。「意見情報」と「事実情報」をしっかりと区別する大切さを学んでいます。

また、重点課題を見つけるまでの過程の中で、今まであまり気にしていなかったことにも目を向けるようになりました。例えば
● 地域によっては、子どもが少ないので伝承が難しいといわれる伝統芸能。これらを広く市全体で継承することはできないか。
● 自治会に加入することは当然だと思っていた。「なぜ加入していかないのか」「加入できないのか」という、相手の立場を考えたみることも必要ではないか。

それは、地域社会で日々生活を営む一人一人を尊重する視点です。今後、次のステップとして事業を考えていくのですが、より一層「人権」の尊重について考えながら取り組みたいと思っています。

高齢者世帯のごみ出しや、学童保育がない地域の子育てなど、問題意識はあっても地域でなかなか行動できない、立ち上がれない自分があります。問題意識のある人の中には、「どうにかしないといけない」という思いを持つメンバーが確かにいることはあります。一人ではできないことは分かっています。人と人とのつながり、プロセス、共助から協働へ、そして、役割分担があり、無理せず、頼っていくこと。地域の活動に参加して「いない」のではなく、「参加できない」という理由を思いやる「人権」の意識に改めて気付きました。



男女共同参画情報コーナー
わたしたちの望む社会へ

とらいあんぐる

皆さん、男女共同参画という言葉をご存知ですか。薩摩川内市では、平成17年4月「男女共同参画基本条例」を施行しました。このコーナーは、市民の皆さんと意見の交換をしながら一緒に「男女共同参画社会」を築くことを目標にしています。

「とらいあんぐる」とは、参画(さんかく)と三角(さんかく)を掛けてつけました。「市民・行政・地域」「教師・児童生徒・保護者」「上司・部下・自分」etc…。いろいろな社会において、常に三者(三角)の関係はとても大切です。このコーナーを作成するにあたって、それぞれの「さんかく」を念頭におき、お互いがトライアングルのように響きあいながら、理解し合えるような社会を築けるようお願いを込めました。

【編集】=とらいあんぐる編集員 【問合せ】=本庁コミュニティ課 男女共同参画グループ ☎(23)5111(内線 4621)

一人一人の人権の尊重

「地域に生きる」一人一人の思いをつむぐ ～女性50人委員会の新たなチャレンジ～

薩摩川内市 女性50人委員会について

薩摩川内市女性50人委員会は平成17年4月に設置されました。これは、市政に市民の声を幅広く反映させるため、女性の立場から市政全般について行政と市民に対し提言するとともに、多くの女性が市政へ参画する機会をつくり、社会参加の促進を図り、男女共同参画社会の実現を目指すものです。

名称	総数	総数に占める女性の人数
薩摩川内市議会議員	26人	2人(7.7%)
自治会会長	585人	30人(5.1%)
コミュニティ協議会会長	48人	0人(0%)
PTA会長【小学校】	36人	1人(2.8%)
PTA会長【中学校】	14人	0人(0%)
審議会等委員総数	979人	224人(22.9%)

*女性の公職参加状況調べより抜粋

平成25年3月31日現在

